

## 営業の概況

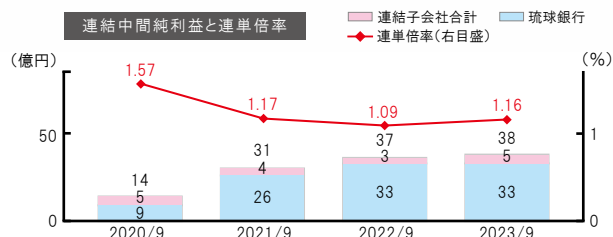
### 決算の概要(連結・単体)

■ 連結は増収増益、単体は増収減益。

連 結	2023年9月期		琉球銀行	琉球リース	リウコム	OCS	りゅうぎん ディーシー	りゅうぎん 保証	その他
	前年同期比								
経 常 収 益	333	41	224	83	16	9	9	3	▲13
経 常 利 益	53	0	45	3	0	0	1	2	▲0
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	38	1	33	2	0	0	1	1	▲0

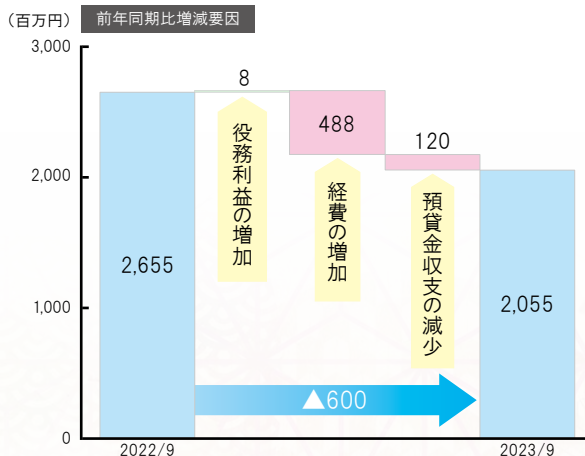
\* その他には内部消去等の他、りゅうぎんビジネスサービス(株)、(株)りゅうぎん総合研究所を含む

単 体	2023年9月期		2022年9月期
	前年同期比		
経 常 収 益	224	21	203
経 常 利 益	45	▲1	47
中 間 純 利 益	33	▲0	33



### 顧客向けサービス利益(単体)

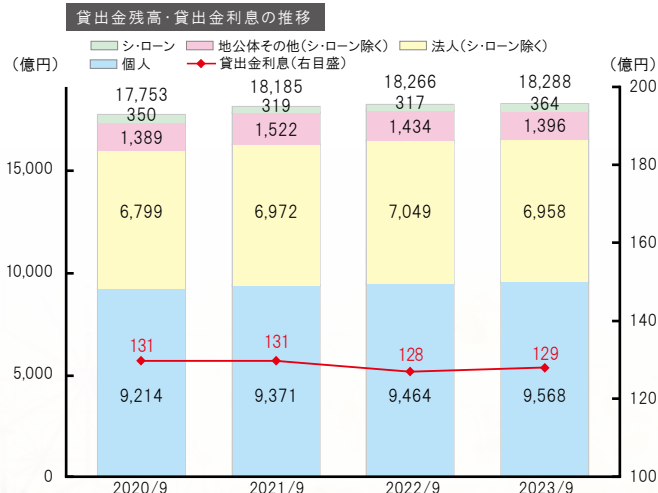
■ 役務利益は前年同期並みとなったが、経費の増加および預貸金収支の減少により、顧客向けサービス利益は減少。



\* 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費  
\* 預貸金収支のうち、預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース

### 貸出金(単体)

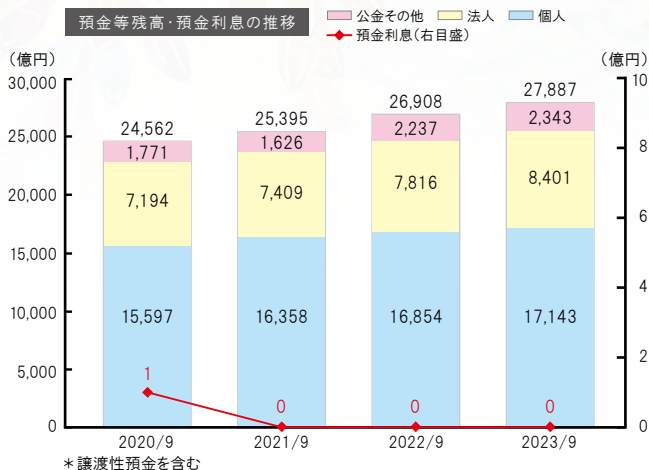
■ 貸出金残高は法人・地公体で減少するも、個人が堅調に推移し全体では増加。貸出金利回りは下げ止まり、貸出金残高が増加したため貸出金利息は増加。



\* 貸出金利息は、支払ローン関係手数料(消費者ローン保証料、団体保険料)の調整を行っておりません。

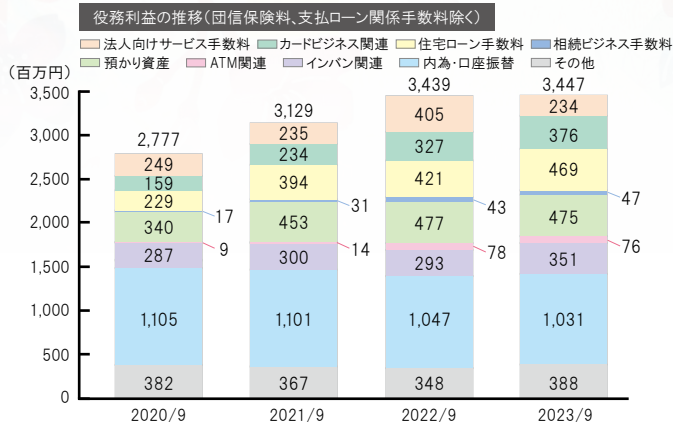
## 預金等(単体)

■ 預金等残高は法人預金を中心に全人格で増加。



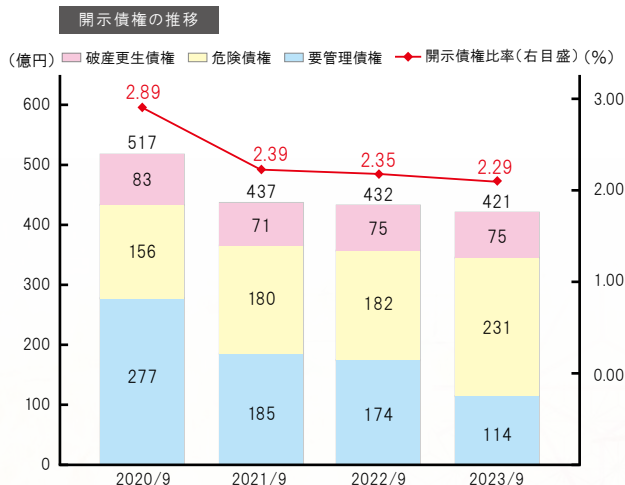
## 役務利益(単体)

■ インバン関連手数料、カードビジネス関連手数料、住宅ローン手数料は増加。法人向けサービス手数料は減少したものの、役務利益は微増。



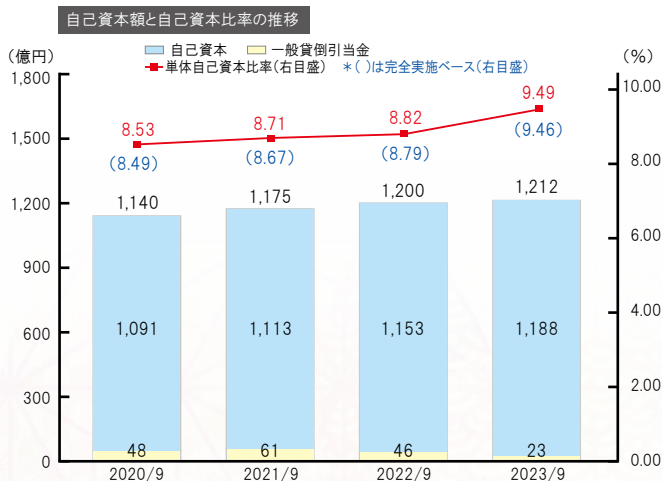
## 開示債権(単体)

■ 一部取引先の業況悪化により危険債権が増加したが、元金返済開始や業況改善等により要管理債権は減少。



## 自己資本比率(単体)

■ 信用リスク削減手法の精緻化等により単体の自己資本比率は大きく上昇。連結自己資本比率も着実に上昇。



\* 完全実施ベースは、現行の自己資本比率規制(バーゼルⅢの最終化)が適用されることを想定し、劣後債および土地再評価差額の資本算入額をゼロとし、無形固定資産および前払年金費用等を資本調整額として全額計上ベースで算出